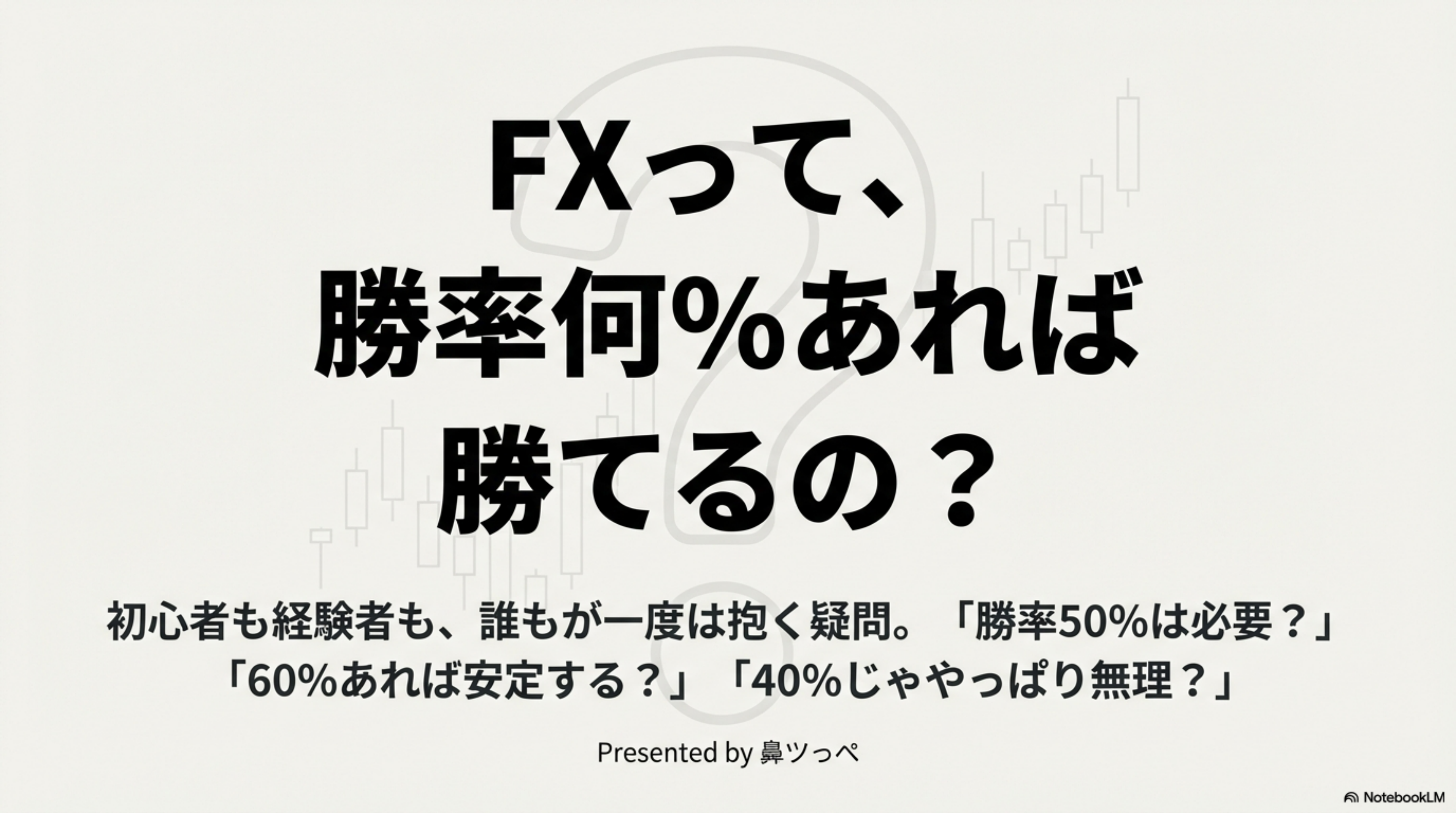




FXって、 勝率何%あれば 勝てるの？

初心者も経験者も、誰もが一度は抱く疑問。「勝率50%は必要？」
「60%あれば安定する？」 「40%じゃやっぱり無理？」

Presented by 鼻ツッペ

~~勝率~~

ただの数字

リスクリワード

勝敗を決める鍵

結論を先に言おう。勝率だけを追いかけても意味がない。
勝敗を決める本当の鍵、それは「リスクリワード（損益比）」だ。

長期的な利益は「期待値」で決まる

難しく聞こえるかもしれないが、FXで資金が増えるか減るかは、シンプルな引き算で決まる。

この期待値がプラスならお金は増え、マイナスなら減る。

$$\text{期待値} = (\text{勝率} \times \text{平均利益}) - (\text{負け率} \times \text{平均損失})$$

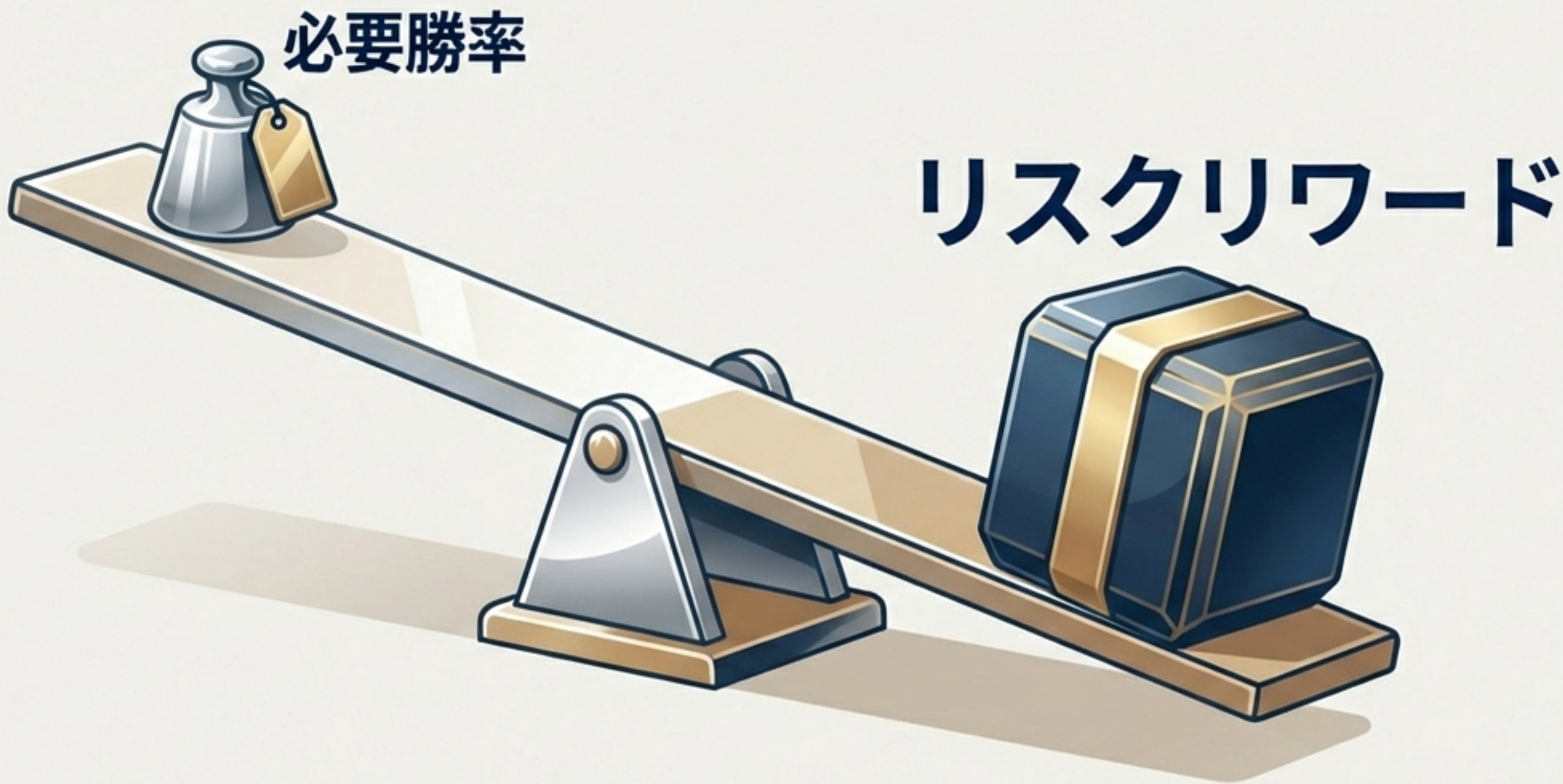


ここから「勝つために必要な勝率」を逆算できる。

必要勝率の公式：損益比とのシーソー関係

設計（RR）が変われば、必要な勝率はガラッと変わる。

$$\text{必要勝率} = 1 \div (1 + \text{リスクリワード})$$



具体的な計算：RRが変わると景色が変わる

RR 1:1 の場合

(損切り10pips・利確10pips)

必要勝率 50%

$$1 \div (1+1) = 0.5$$

損益が同じなら、半分は
勝たないと資金は増えない。

RR 1:2 の場合

(損切り10pips・利確20pips)

必要勝率 33.3%

$$1 \div (1+2) = 0.333...$$

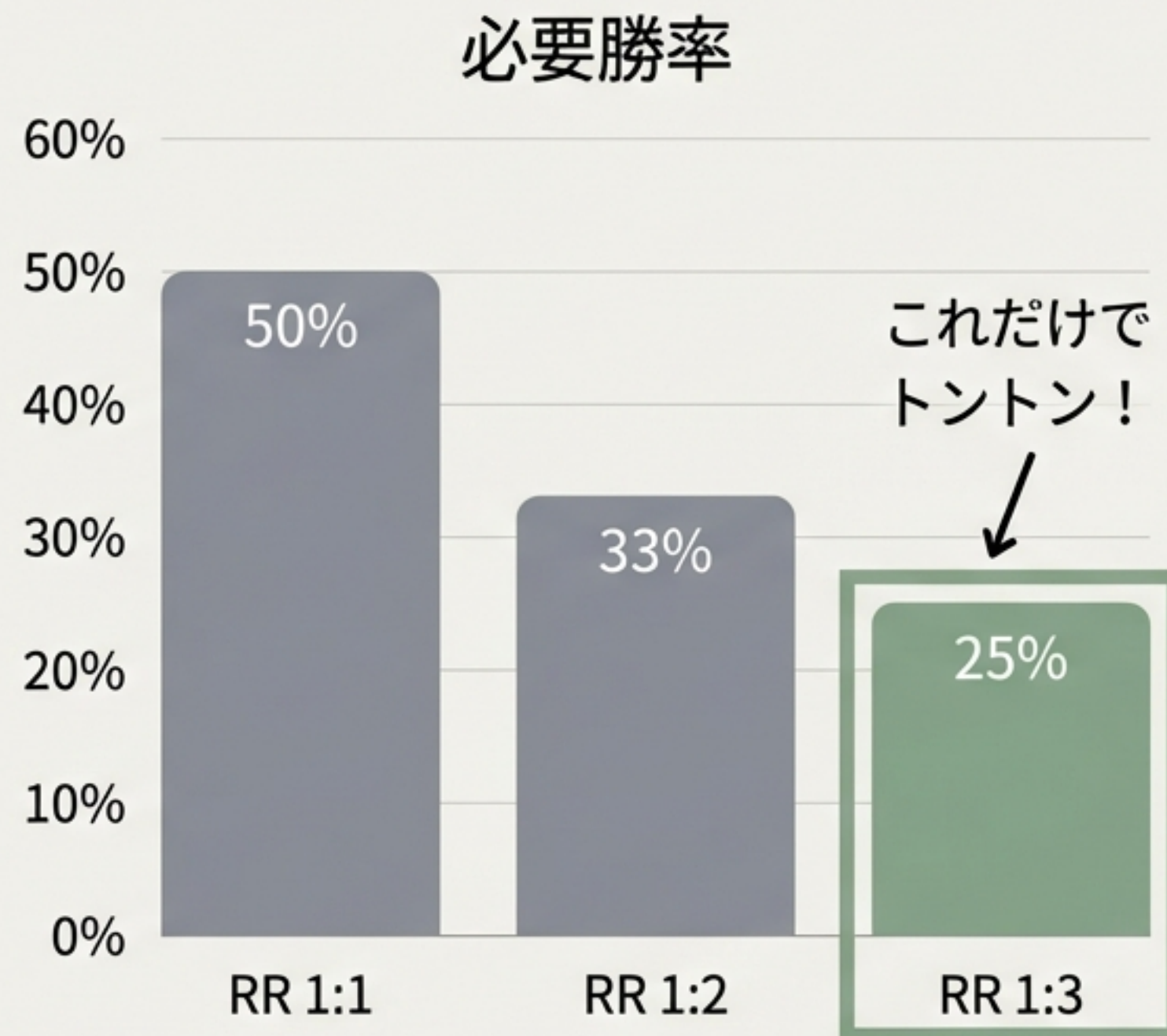
3回に1回勝てばトントン。
ハードルが一気に下がる。

4回に1回勝てばOK？ RR 1:3の世界

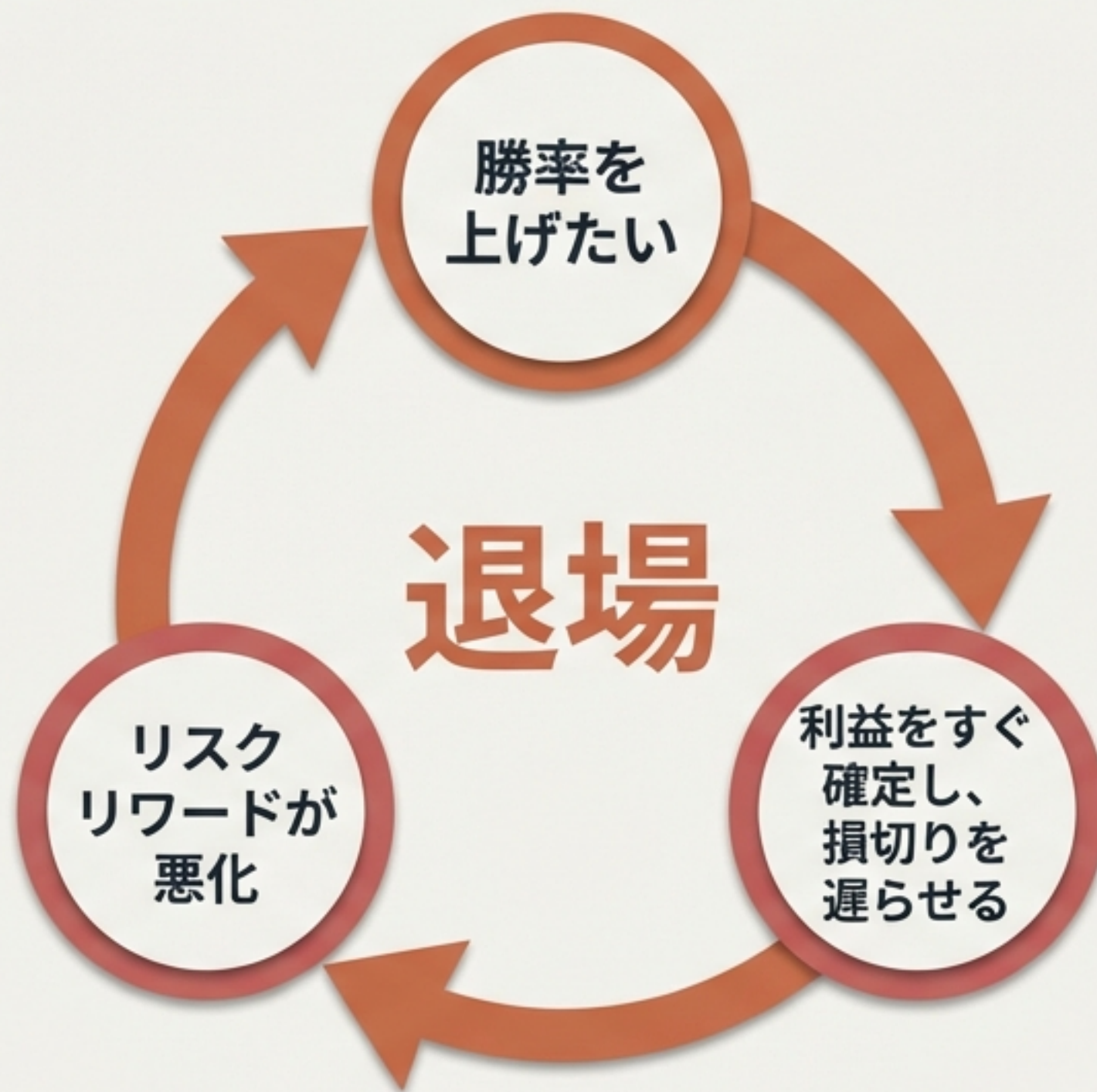
「勝率50%が必要」というのは、あくまでRR 1:1の場合に限った話。利を伸ばす設計ができれば、高い勝率は必要ない。

RR 1:3（損切り10pips・利確30pips）
の場合

計算式： $1 \div (1+3) = 25\%$



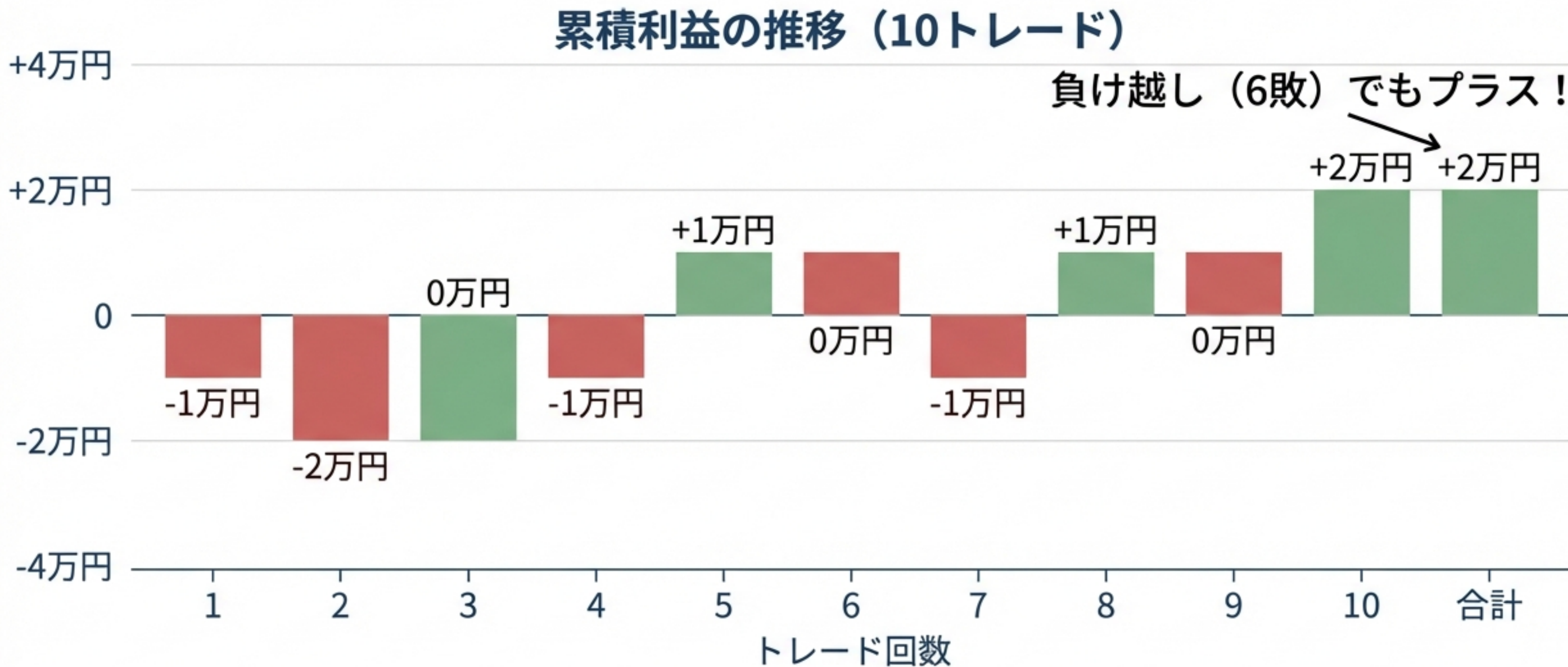
「勝率50%の呪縛」と退場パターン



「勝率を上げる努力」より「RRを改善する設計」の方が効率的だ。

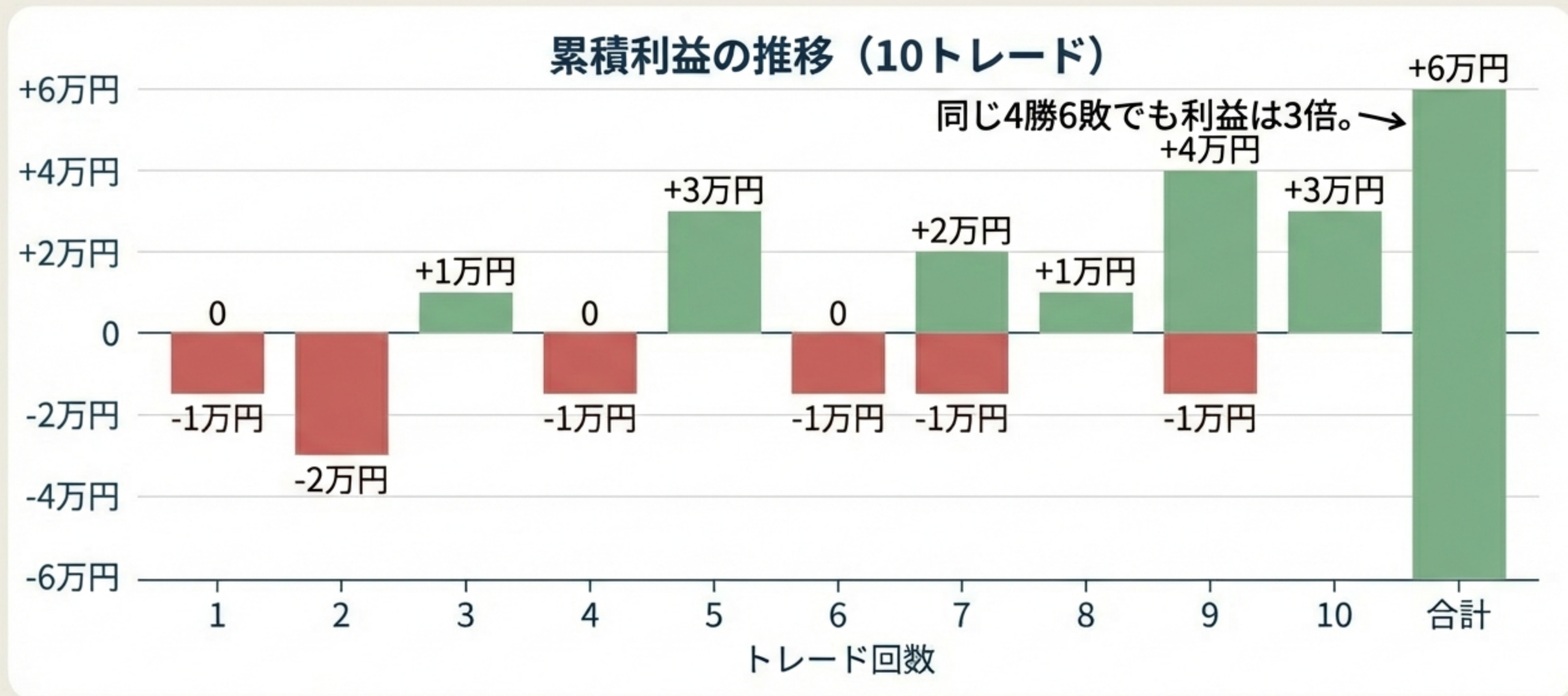
シミュレーション：勝率40%でも利益は残る

条件：勝率40%（4勝6敗） | RR 1:2 | リスク1万円



デザインの力：同じ勝率でも利益は3倍になる

条件：勝率40%（4勝6敗） | RR 1:3 | リスク1万円



勝率の代わりに見るべき数字①

実現リスクリワード



理論上のRRではなく、
「実際の平均利益 ÷ 平均損失」の数字。

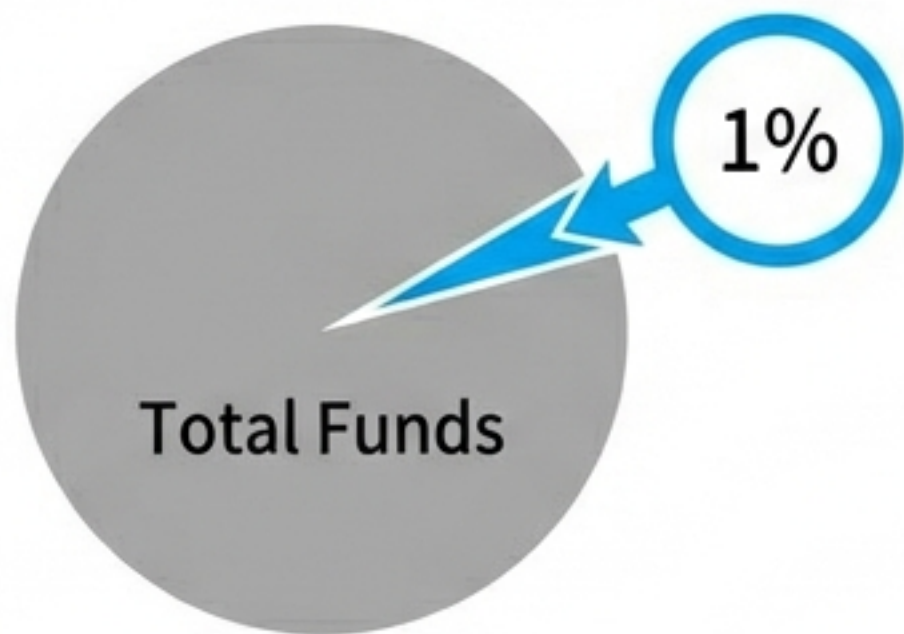
- ✓ トレード記録をつけること
- ✓ 自分の「実際のRR」が崩れていないか確認すること
- ✓ ここが崩れていると、どんな計算も無意味になる

勝率の代わりに見るべき数字② & ③



最大連敗数 (Max Drawdown)

勝率40%なら、5～7連敗は「普通に」起きる。
パニックにならず、心の準備を。



1回あたりのリスク% (Risk per Trade)

長期的に生き残れるかどうかは、
勝率ではなくここに直結している。

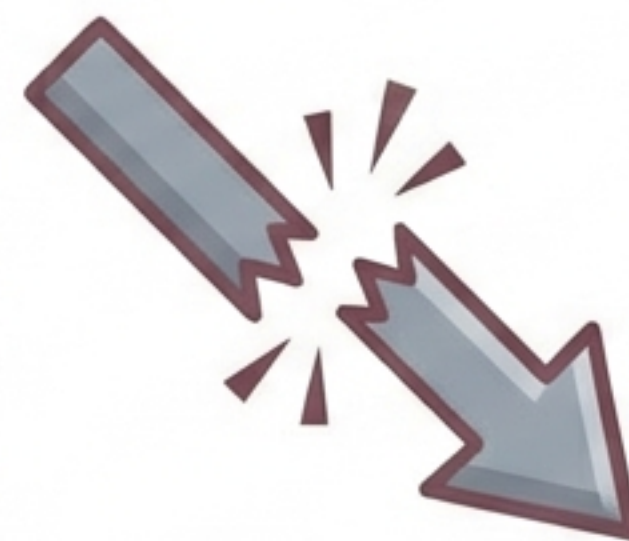
よくある誤解を解く（その1）

誤解: 「勝率が高いほど安全？」



違う。勝率80%でも、RRが1:0.3なら破綻する(コツコツドカン)。小さく勝って大きく負ける構造は危険。

誤解: 「連敗したら手法がダメ？」



勝率40%なら、10回中6回負けるのは「異常」ではなく「普通」。短期の結果で一喜一憂して設計を変えるのが一番のミス。

よくある誤解を解く（その2）

誤解：「勝率を上げれば安定する？」



「あのときの絶望感、今でも覚えてるよ」

まとめ：あなたの必要勝率早見表

リスクリワード 1:1	→	必要勝率 50%
リスクリワード 1:2	→	必要勝率 33%
リスクリワード 1:3	→	必要勝率 25%

勝率を追いかけるな。自分に必要な勝率を理解して、構造を作れ。

最後に：リスク管理だけは手を抜かない

「勝率50%なくていいんだ！」と気が楽になったかもしれない。
でも、一つだけ約束してほしい。

どんなに良い設計でも、1回のリスク管理ミスで資金を飛ばしたら終わりだ。
リスク管理だけは絶対に手を抜かないこと。

君のトレードがうまくいくことを、心から応援している。